



新学期(進級)・新入学、おめでとう！！
 別れと出会いの春です。新しい人生(生活)のスタートです。
 花咲き、実りのある令和四年度にしたいと願っています。
 様々なトラブル(課題)を跳ね返し、心の優しさをもって“幸せ”
 をつかみ取りたい。「花咲かじいさん」になる所存の武庫の里小です。



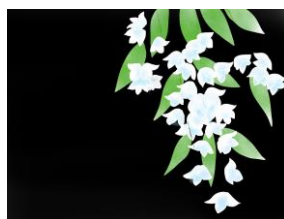
★ 色みえで うつろふものは 世の中の 人の心の 花にぞありける ★



古今集 797 に小野小町の歌があります。桜と言えば、さっと素早く満開になって、それ以上のスピードで散ってしまう潔さや、はかなさが、よく歌われるのですが、この歌は、現代語訳：「普通の花は色あせてゆくようすを目で確かめることができるのに、人の心に咲く恋の花はそうと知らないうちに移ろってゆくものだ」と言っています。本来は人の心変わりを言っているのですが、いつの間にか変化してしまう。という解釈は、平安時代から人の心のあり方だったようです。だとすれば、子どもたちの場合、新生活にもなじみやすいと考えられれば良いかと思います。桜の開花から散るまでの期間で、“心機一転”できるようにご家庭でもご指導お願いいたします。



卯月



4 月は、卯月。卯月は「うづき・うつき」と読みます。個人的には、「卯の花が咲く月」が省略され「卯月」になったという説に賛成です。

ほかに、稲を植える月という意味の「植月（うゑつき）」「田植苗月（たうえなへづき）」という説もあります。

また、十二支の4番目である「卯（うさぎ）」を当てはめたという考えもありますが、ほかに動物の月がないので、違うと思います。

← 卯の花（本物の植物のことです。決して“おから”のことではありません。）



今年は、三本柱。① 学力向上。勉強と学習の年。 ② ニューノーマル。正しく怖がる with コロナの年。 ③ 学校復古。コロナに対抗。できる限り制限されない“楽しい”教育活動を復活。

①学力向上計画を次の「OODA」(校長通信)にて公開予定。 ②“正しく怖がる”活動。鋭意継続拡大充実実施中。③子どもたちが“楽しい”といえる教育活動に注力。追記：18歳成人となりました。高校では、マネー教育が始まります。義務教育でも、コロナや戦争のこと学ぶ機会があるでしょう。“正しく怖がる”ためには、『正しく知る』ことが大事です。

